

指標の達成状況一覧

施策	指標	指標の概要	指標設定年度	現状値	目標値	達成状況
1	確かな学力の育成	全国学力・学習状況調査における標準化得点の教科ごとの平均値	H29	調査中止 (R2年度)	小 国語 100以上 算数 100以上 中 国語 98.9以上 数学 98.6以上 (R3年度)	—
	課題の解決に向けた取組	授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う児童生徒の割合	H29	調査中止 (R2年度)	全国平均以上 (R3年度)	—
	家庭での学習習慣の定着	学校の授業時間以外に、平日の勉強時間が1時間未満の児童生徒の割合	H28	調査中止 (R2年度)	全国平均以下 (R3年度)	—
	学力向上に関する検証改善サイクルの確立	教育課程の改善を図るための一連のPDCAサイクルを確立している学校の割合	H29	調査中止 (R2年度)	全国平均以上 (R3年度)	—
2	子どもの体力の向上	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点平均値	H24	調査中止 (R2年度)	全区分 全国平均以上 (毎年度)	—
3	子どもの運動習慣の定着	学校の体育の授業以外で、週3日以上運動やスポーツをする児童生徒の割合	H28	48.44% (R2年度)	65.0% (R5年度)	—
4	食に関する指導	朝食を食べる習慣が定着している児童の割合	H24	調査中止 (R2年度)	全国平均以上 (R3年度)	—
5	道徳教育の推進	各地域の道徳教育の中核となる小・中学校教員の養成研修修了者数の累計	H24	384人 (R2年度)	380人 (R2年度)	◎
		研修会の講師等として自校以外で活動した道徳教育地域指導者の割合	H28	82.3% (R2年度)	85% (毎年度)	○
6	放課後等における体験活動の実施	[新] 放課後等に子どもの体験活動を実施している市町村の割合	R2	86.7% (R2年度)	100% (毎年度)	○
7	不登校対策	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数	H24	小9.7人 (全国8.3人) 中46.3人 (全国39.4人) 高20.7人 (全国15.8人) (R1年度)	全国平均以下 (毎年度)	△
		不登校から継続して登校できるようになった児童生徒の割合	H24	小29.7% (全国22.8%) 中27.5% (全国22.8%) 高53.5% (全国37.5%) (R1年度)	小・中学校 全国平均以上 (毎年度)	◎
	いじめの解消率	いじめの認知件数のうち解消した件数の割合	H25	小87.5% (全国83.5%) 中83.8% (全国81.6%) 高79.8% (全国84.0%) (R1年度)	全国平均以上 (毎年度)	○
8	家庭・地域と連携した規範意識育成	「児童生徒と保護者が共に学ぶ学習会」に参加した保護者の割合	R1	小 29.5% 中 4.9% (R2年度)	小 40.0% 中 10.0% (R2年度)	△
9	小学校と幼稚園等の連携	幼稚園・保育所・認定こども園と合同で研修会を実施した小学校の割合	H29	54.2% (R2年度)	80% (R3年度)	△
11	学校、家庭、地域の連携・協働体制の整備	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加している学校の割合	H29	調査中止 (R2年度)	全国平均以上 (R3年度)	—

指標の達成状況一覧

施策	指標	指標の概要	指標設定年度	現状値	目標値	達成状況
11	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進	[新] コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に取り組んでいる小中学校の割合	R2	40.2% (R2年度)	100% (R4年度)	△
14	県立学校におけるICT環境の整備	普通教室におけるICT環境整備率	R1	無線LAN 100% (R2年度)	100% (R2年度)	◎
		[新] 県立中学校、中等教育学校（前期課程）及び特別支援学校（小・中学部）における一人一台端末の整備率	R2	大型提示装置 57.2% (R2年度)	100% (R4年度)	○
15	交通安全教育の推進	交通安全教室（高等学校は二輪車安全教室を含む。）を実施している学校の割合	H24	小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100% (R2年度)	小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100% (毎年度)	◎
	防災教育の推進	地震に関する避難訓練の実施率	H24	小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100% (R2年度)	小学校 100% 中学校 100% 高等学校 100% (毎年度)	◎
17	スクールソーシャルワーカーの配置	スクールソーシャルワーカー配置中学校区数の割合	H30	97.5% (R2年度)	100% (R2年度)	○
18	教職員の超過勤務の縮減	県立学校における教職員の超過勤務時間数縮減の割合（H30年度基準）	H30	平均超過勤務時間数の縮減率 H30年度→R1年度（1～3月） △20.1% R1年度→R2年度（4月～3月の平均値） △13.8%	20% (R2年度)	○
19	科学技術系人材の育成	高校生科学技術コンテストの受験者数	H24	685人 (R2年度)	1,200人 (毎年度)	△
		科学の甲子園ジュニア（中学生対象）の参加チーム数	H26	中止 (R2年度)	150チーム (毎年度)	—
	農業人材の育成	農業関係学科からの就職者のうち農業関連分野への就職率（県立高等学校）	H30	37.4% (R2年度)	50.0% (R2年度)	△
		農業関係学科からの上級学校進学者のうち農業関連学科への進学率（県立高等学校）	H30	35.4% (R2年度)	30.0% (R2年度)	◎
20	特別支援教育体制の整備	公立の幼稚園、認定こども園、小・中・高等学校において、特別な支援が必要であると考えられる幼児児童生徒に対する①個別の指導計画及び②個別の教育支援計画の作成の割合	H24	① 99.3% ② 99.3% (R2年度)	① 100% ② 100% (R3年度)	○
21	キャリア体験活動の実施	県立高等学校における職業や進路研究等に関する体験活動への参加率	H29	86.4% (R2年度)	100% (R3年度)	○
	就職意欲の向上	県立知的障がい特別支援学校高等部における就職希望率	H28	45.4% (R2年度)	50% (R3年度)	△

指標の達成状況一覧

施策	指標	指標の概要	指標設定年度	現状値	目標値	達成状況
22	高校生の海外留学の啓発	留学説明会の参加者数	H29	中止 (R2年度)	200人 (R3年度)	—
	生徒の英語力	CEFR A1レベル相当以上(英検3級程度以上)の資格又は相当する力を有する中学校生徒の割合	H29	調査中止 (R2年度)	50% (R3年度)	—
		CEFR A2レベル相当以上(英検準2級程度以上)の資格又は相当する力を有する県立高等学校生徒の割合	H29	49.3% (R2年度)	50% (R3年度)	○
23	社会教育に関する学習情報提供の充実	「ふくおか社会教育ネットワーク」へのアクセス件数	H24	515,461件 (R2年度)	300,000件 (毎年度)	◎
24	県立社会教育施設の利用	県立社会教育施設の利用者数(社会教育総合センター、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」)	H24	29,511人 (R2年度)	223,000人 (毎年度)	—
	県立図書館の活用	県立図書館の図書貸出冊数	H24	370,070冊 (R2年度)	460,000冊 (毎年度)	—
		県立図書館の図書貸出利用者数	H29	139,753人 (R2年度)	171,000人 (毎年度)	—
	青少年科学館の利用	青少年科学館の入館者数	H24	91,842人 (R2年度)	318,700人 (毎年度)	—
25	県立美術館の利用	県立美術館の入館者数	H24	62,555人 (R2年度)	160,000人 (毎年度)	—
26	九州歴史資料館の利用	九州歴史資料館の入館者数	H24	16,939人 (R2年度)	35,000人 (R3年度)	—
	旧福岡県公会堂貴賓館の利用	旧福岡県公会堂貴賓館の入館者数	H24	10,490人 (R2年度)	23,000人 (毎年度)	—
27	競技スポーツの振興	国民体育大会における男女総合成績順位	H24	大会延期 (R2年度)	8位 (毎年度)	—
	女性アスリートの育成	国民体育大会における女子総合成績順位	H27	大会延期 (R2年度)	8位 (毎年度)	—
28	人権教育の推進	人権教育推進の中核となる指導者養成研修を修了した教員の累計人数	H24	464人 (R2年度)	459人 (R2年度)	◎

< 達成状況集計 >

◎	計	10
○		9
△		7
▲		0
合 計		26
—	評価なし	20